

JENESYS2018 ASEAN 招へいプログラム第 21 陣の記録 歴史・文化交流 対象国:フィリピン

1.プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2018」の一環として、フィリピンから若手外交官、行政官、シンクタンク職員 17 名が 2019 年 2 月 5 日 ~ 2 月 12 日の日程で来日し、「歴史・文化交流」をテーマとしたプログラムに参加しました。

一行は、都内での国会議事堂等の視察、日本理解講義の聴講後、大阪府・京都府へ訪問し、テーマ関連施設への訪問、関係者との意見交換、地方自治体関係者への表敬を行いました。そして、ホームステイや座禅の体験、神社仏閣の訪問も行い、多角的に日本への理解を深め、日本人との友情を育みました。また、一行は、各々の関心事項や体験、日本の魅力について SNS を通じて対外発信を行いました。帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン(活動計画)について発表しました。

【参加国・人数】フィリピン 17 名 【訪問地】東京都、大阪府、京都府

2. 日程

2月5日(火) 来日、【オリエンテーション】

2月6日(水) 【基調講演の聴講】

【昼食交流会】講師:大阪大学及び名古屋外国語大学 名誉教授 津田 守 氏

・・・・ 【テーマ関連施設】ホセ・リサール碑、キリノ元大統領顕彰碑

【7 (別注地収】がに クタール時、「タクルが税率

【視察】国会議事堂(衆議院)、お台場

2月7日(木) 東京都から京都府へ移動、【文化体験】坐禅体験(勝林寺)

2月8日(金) 【表敬訪問】高槻市長、【地域概要説明の聴講】講師:高槻市

【テーマ関連の視察】高槻市「高山右近」関連施設

2月9日(土) 【文化体験】茶香服(和束町)

【ホームステイ】京都府相楽郡和東町

2月10日(日) 【文化視察】伏見稲荷大社、【ワークショップ(報告会準備)】

2月11日(月) 京都府から東京都へ移動、【視察】本所防災館、

【最先端技術視察】東京スカイツリー

2月12日(火) 【成果報告会】、【文化視察】浅草寺、帰国

3. プログラム記録写真



2月6日【基調講演の聴講】



2月6日【視察】国会議事堂(衆議院)



2月7日【文化体験】坐禅体験 (勝林寺)



2月8日【表敬訪問】高槻市長



2月9日【文化体験】茶香服 (和束町)



2月9日~10日【ホームステイ】 (和束町)



2月10日【文化視察】伏見稲荷大社



2月12日【成果報告会】

4.参加者の感想(抜粋)

フィリピン社会人

津田名誉教授による基調講演は、教授ご自身の数多くのフィリピン人との交流について、 そして、日比関係がどのようにして始まり強固な関係を築けているのかについて、多く のことを学ぶことができた貴重な機会でした。日比谷公園には、フィリピンではよく知 られている独立運動の指導者ホセ・リサールとキリノ元大統領の記念碑があり、日比両 国の友好関係を物語っています。彼らに敬意を払い、これらの記念碑を建ててくださっ た日本人に感謝します。また、マニラと姉妹都市関係にある高槻市を訪問できたことは とてもよかったです。両市が姉妹都市になる背景を学ぶことができましたし、姉妹都市 提携後、お互いに努力しながら良好な関係を維持し続けていることについても知見を深 めることが出来ました。ホームステイでは、日本人のお宅に宿泊し、日本人と実際に触 れ合ったことで、日本の皆さんが礼儀正しく、私たちを大変温かく迎えてくれました。 決して派手ではなく堅実な生活スタイルは、尊敬すべきもので、家族の伝統は昔のまま、 現在に引き継がれているのだと感じました。最後に、着物の着付けを体験したことは、 とても思い出深いものになりました。この体験で、私は日本人が何故礼儀正しいか分か るような気がしました。着るだけでとても大変だったのですが、私の着付けを手伝って くださった人はとても辛抱強かったのです。また、着物の生地、柄などはとても美しく、 高い芸術性を感じました。

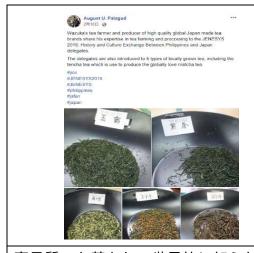
フィリピン社会人

基調講演では、津田名誉教授から、日比関係の専門家として、明快で鋭い洞察力に富んだお話を伺うことができ、大変印象的でした。また、国会議事堂を訪問できたことは、私にとって大変意義のあるものでした。日本の政治や経済団体をより深く理解することに役立ったからです。高槻市や和東町への訪問は、彼ら自身が住んでいる地域への誇り、地域の宣伝に取組む姿が印象的で、地方自治体や社会の仕組みについて、考える機会となりました。ホームステイは、各家庭で息づいている日本文化を経験することができて、貴重な体験でした。日本の観光地として外国人によく知られている地方へ行けたことも大変貴重なものでした。高山右近の視察を通して、日本における宗教、キリスト教、神道、仏教について学ぶ機会もあり、プログラムを通して様々な経験をすることができ、日本への理解が深まりました。プログラム中に提供された食事も美味しく、食事にも、日本文化の質の高さが表れていると思いました。

フィリピン社会人

日本とフィリピンには共通点、共有する歴史があるという基調講演をして〈ださった津田名誉教授のことを知ることできて光栄でした。勝林寺と祇園では、今日の日本を形作ってきた伝統と文化が失われずに残っていることに驚きました。 国会議事堂の建物は、信頼の厚い日本政府の基礎を映しだしているような、立派な建物だと感じました。マニラの姉妹都市である高槻市都市を訪問し、お話を伺うことで、両市の特別なつながり、絆を改めて感じることができました。ホームステイは、日本の家族が私達をとても歓迎し、積極的に日本文化を紹介して〈れました。

5.参加者の対外発信



高品質のお茶として世界的に知られる和 東町のお茶農家さんが、JENESYS2018 歴史・ 文化交流に参加しているフィリピン訪日 団に対して、お茶栽培について説明をして くれました。また、甜茶や抹茶を含む、和 東町で栽培、加工している 5 種類のお茶に ついても紹介してくれました。



高槻市市役所にて、高山右近、マニラと 高槻市の姉妹都市関係についての概要 説明を聞きました。

新幹線に乗って、東京から京都に行きま した。

6.報告会での帰国後のアクション・プラン発表



テーマ: UGANAYAN(タガログ語で「絆」の意):日 比両国友好関係促進のために

- ・日比両国関係の文化面での相違点を明らかにして、お互いが協力できる道筋を探します。今回の参加者のそれぞれの職場の同僚や議員に、セミナーやワークショップの実施を通じて働きかけ、理解を求めます。
- ・「日本を訪れる人に日本を楽しみ、社会・文化をよりよく理解してもらうための案内」を SNS を通じて紹介します。